



ザ・リバティ 2017年1月号

# なぜ真珠湾に行って靖国参拝に行かないのか

安倍晋三首相は12月、日本でプーチン露大統領と首脳会談、米ハワイの真珠湾でオバマ米大統領と慰霊を行う。だが、行き当たりばったりの理念なき外交は、他国に足元を見られるだけだ。



安倍首相は2013年12月以来、靖国神社を参拝していない。 Frederic Legrand-COME0/Shutterstock.com

安倍晋三首相は12月15、16両日、山口県内と東京都内で、ロシアのプーチン大統領と首脳会談を行う。日本がロシアとの関係を強化する最大の目的は、中国のアジアへの侵略を封じ込めるためだ。

だが、日露双方の思惑は微妙にずれている。日本は、北方領土問題を解決した上で平和条約を結びたい。一方ロシアは、領土問題の解決より、まず平和条約を結んで経済協力を進めたい。この会談の地下づくりのため、岸田文雄外相は4日、モスクワを訪れてラブロフ外相と会談。しかし冒頭の握手もない冷え切ったもので、溝を埋められなかった。

**北方二島を逃したのは誰か**  
2014年、ロシアがクリミア半島を併合した際、欧米はロシアに経済制裁を行い、日本も同調した。困ったロシアは中国との関係を強

化して生き残りを図った。この点について大川隆法・幸福の科学総裁は、当時から、多くのロシア人が住んでいたクリミアの併合は、自国民保護の意味合いが強く一定の正当性があると指摘。12月7日、千葉・幕張メッセで行った講演会「真理への道」でも、こう話した。

「(ロシアに)一定の正当性があるというのを認めていたならば、少なくとも北方四島のうち、二島は今年返ってきています。これを逃したのは、現在の外務省と安倍政権です。この見通しのなさについては、十分に反省していただきたい」

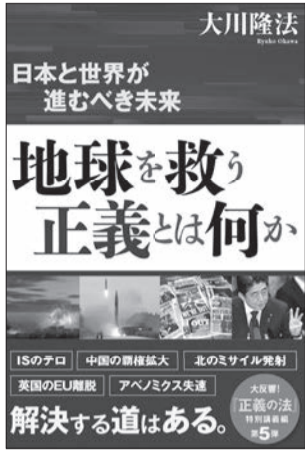
そして、日本が取るべき戦略についてこう続けた。「北方四島をいったん、棚に上げて私も平和条約を結ぶべきだと考えています。(中略)ロシア、アメリカとの関係を強化することが、次の対中国戦略になります」

**TheLibertyWeb**  
True insight into world affairs  
日々のニュースへの新たな見方を提供する記事を配信中。

**大川隆法総裁法話インフォメーション**  
日本と世界の諸問題について指針を示す  
・2016年 エル・カンターレ祭 法話「真理への道」  
・法話「政治の論点について」

映像は、全国の幸福の科学の精舎・支部・拠点で映像でご覧いただけます。ご関心のある方は、本号外を配布している者にお気軽にお声掛けください。お近くの支部はこちらから検索→ <http://map.happy-science.jp/>

# 大川隆法総裁の著書



中国の覇権拡大、  
英国のEU離脱、アベノミクス失速。  
先の読めない国際問題と  
八方ふさがりの日本の危機——  
すべてを解決する道はある。

## 地球を救う正義とは何か

日本と世界が進むべき未来

大川隆法 著

1,620円(税込) 発行/幸福の科学出版



トランプ新大統領が「正しい選択」である  
これだけの理由。

「トランプ勝利」を2016年1月から

見抜いていた著者が、

新大統領誕生の翌日に最新メッセージ!

## トランプ新大統領で世界はこう動く

大川隆法 著

1,620円(税込) 発行/幸福の科学出版

## 月刊「ザ・リバティ」最新1月号

全国書店にて発売中



特集

## 俺たち実は、「親日」暴君

2017年 日本のチャンス

トランプ大統領が「正しい選択」である理由 /

ドゥテルテはどこへ行く? / プーチンの「世界物流革命」

大川隆法総裁  
未来への羅針盤  
家族の難病への  
向き合い方



The Liberty Web  
True insight into world affairs

本誌ウェブ版では最新ニュースを毎日配信中(一部有料)。  
本誌バックナンバーもご覧になれます。

the-liberty.com

ザ・リバティ

検索